

公表:平成 31年 3 月 1日

事業所名 箕輪町こども発達支援事業所 若草園

		チェック項目	は	い	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
			い	え		
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	◇利用定員に対して施設基準は満たしているが、個性性の確保は通所する子どもの特性から必須であり、ロッカー、棚等で個別空間を設けている。	◇個別空間は設けているが仕切りが少なく、視覚・聴覚刺激を受けやすい児の場合、さらなる配慮として相談室などで個別プログラムを行うようにしている。
	②	職員の配置数は適切である	6			◇各職員の役割が明確になっていない。明文化し共有することが必要。 → 職員の役割の再確認とともに毎年年度当初には確認するようにする。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	①の◇と同様。	①の◇と同様。 ◆個々の通所児の特性に配慮した環境づくりが必要。 →通所児に合わせて動線の見直し、部屋の配置の見直しをしていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1	◇毎日、退園後の清掃、トイレ、洗面場所の衛生管理を実施すると共に、口に含んだ遊具等は専用液にて消毒を施している。 ◆屋外は併設保育園の園庭と共有しているため園児との交流、活動の共有もできるようになっている。 □子どもたちの発達に合わせた活動ができる個別空間・部屋数が少ない中でも様々な棚、ロッカー等を活用して極力、空間を分けて行っている。	◇看護師を中心に衛生管理を定期的実施するとともに、不在時の対応について職員間で共有していく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPOCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		◇全体での確認がされていない実態があり、機会あるごとに全職員で共有する時間を設け、徹底することはホワイトボードなどに記載し、視覚で理解できるようにする。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	◇必要に応じて聞き取りをしたり、独自のアンケートを行ったりして次年度に向け事業、運営面の改善につなげるようにしている。	◇業務の統一すべき内容を全職員が共有できるようにする(ホワイトボード、記録の保管の再検討と日中の配置場所の再検討)。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		◇年度末に園のホームページに公開している。	◇何が課題なのかを考え、全員で話し合い、共有することが大切かと思う。 →個人情報等の漏洩等に配慮し、極力スタッフルームへの掲示、カルテへの短期目標の貼付など情報の共有化を図っています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		◇客観的な視点は事業所及び職員の質を上げるには必要なため、将来的に取組むことを検討中。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			

適切な支援の提供

⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1		
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	◇2週毎、職員で話し合い活動プログラムを作っている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		◇週単位、月単位で集団、個別共にプログラムを見直している。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	□個々の目標、日々、月単位の支援目標を全職員が共有できるように朝のミーティング時、計画書の作成日に確認するように再徹底することを確認。	◇朝のミーティングで当日の支援の狙いを全員で確認することが良いと思う。 →朝のミーティングで個々の子どもの課題を担当より伝えることを徹底する。 ◆専門職の巡回相談の際に情報共有ができないことがある。全体活動においても事業所の日程の連絡が不徹底のため、双方で戸惑い、利用者にも無駄な時間を作ってしまうことあり。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	◇午睡時、児の退園後などほぼ毎日その日の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	◇時間を決め、全員の振り返りをして共有することが大切だと思う。 →事業所の日程の見直しと定期的共有できるように時間と場の設定をしていく。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	◇個別目標、支援目標に対しての結果がどうであったか日々の記録に書いている。	◇話し合いの記録を残すようにした方が良い。 →全てにおいて記録をとる。(13:00~13:30) ・職員での情報共有を視覚化するためホワイトボードを活用する。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	2		◇限定されたメンバーの出席であり、その児に合わせた職種の出席は不十分であり、開催時間、参集職種の範囲を事業所としても検討していく必要性を感じている。(特に医療ケア児に関しては再検討が必要)。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			

関係機関や保護者との連携	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		◇連携不足であったり、情報量の乏しさであったり、関係機関との相談、報告等の流れの明確化が十分ではないため、今後再検討を行う。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1	◇看護職が中心となり、口頭、紙面、連絡ノートなど必要な相談を行っている。	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と目互理解を図っている	6			
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と目互理解を図っている	6		◇移行先の職員に医療機関の職員も交えて実施し、相互の理解を図れている。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		◇保育園の敷地内にあり、屋外遊びは園庭を共有し、毎日園児との交流、活動の共有ができています。	
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	6			
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	5	◇通所する頻度に差があるため集団実施は難しく、心理士の個別相談の中で対応している。	
	保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		
③⑬		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	4		◇今後、実施の予定
③⑭		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する目談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	◇職員間、ときに相談支援員、関係機関職員と情報共有し、相談しながら一貫した助言や支援ができています。	
③⑮		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		◇保護者会はない →定期的に各職員がそれぞれの立場で保護者の意見、意向を確認し、必要に応じて話す機会を作るようにしている。
③⑯		子どもや保護者からの目談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、	6			

非常時等の対応	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	6				
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5			◇今後に向けて検討中。
	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6				◇感染症については即時、「お便り」を通して周知し、緊急時、防犯灯については発生を想定した訓練を定期的に設け、実施している。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6				◇補助員として配置されている看護職を中心に通所児の状況を全職員で確認する機会を作っている。 ◆看護職が3カ月に一度、データベースの見直しを行うようにする。
④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6					
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6					
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6					
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	4				◇身体拘束を行うことはないが、「身体拘束」について職員間で学習会など開催し、事例について共有する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成 31年 3月 1日

事業所名 箕輪町こども発達支援事業所 若草園

保護者等数(児童数) 登録10名

回収数 6名

割合60%

	チェック項目	はい	どちらか も	いい ない	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5		1		・適切だと思う。満足している。	
	② 職員の配置数や専門生は適切であるか	5	1			・適切だと思う。満足している。 ・忙しそうなので職員の配置数を増やしても良いと思う。 ・食事の場面で先生たちが立ったり、座ったりで落ち着かない。	◇食事場面の職員の振る舞いについては机の配置、職員配置等を考慮し、極力通所する子どもたちの刺激にならないような工夫をしていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特生に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2			・適切だと思う。満足している。 ・何か急変した時や重度の子どもが体調を崩した時用にベッドなどの配置があった方がよい。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過となっているか。また、子ども達の間を設けた空間となっているか	6				・適切だと思う。満足している。	
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6				・その都度、相談でき、アドバイスをいただけるので満足です。	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択されているか	5			1	・その都度、相談でき、アドバイスをいただけるので満足です。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6				・その都度、相談でき、アドバイスをいただけるので満足です。	
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6				・その都度、相談でき、アドバイスをいただけるので満足です。 ・いろいろと企画していただいて子どもが楽しく通っています。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6				・屋外遊びが併設園の園庭で園児たちに混じって遊べる点が非常に良い。 ・三日町保育園と併設なので何かと交流があって良いと思う。	
保護	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				・その都度、声を掛けていただけるので大変満足です。	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6				・その都度、声を掛けていただけるので大変満足です。	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5			1	・その都度、声を掛けていただけるので大変満足です。	

者等への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、声を掛けていただけるので大変満足です。 ・職員とのコミュニケーションは図りやすくとても良い。 ・単独通園かつ延長保育利用だと毎日の子どもの様子を把握しにくい。(午前中で保育士も変わってしまうので児の話をする時間が少ない) 	◇子どもさんについては複数の保育士で担当していますので普段の様子、心配なこと、相談ごと等ありましたら声を掛けていただければ幸いです。なお、苦情等についても窓口は園長が対応しますので気軽にご相談ください。
	⑭	児に関する助言等の支援が行われているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、声を掛けていただけるので大変満足です。 ・随所でアドバイスをいただけてとてもありがたいです。 ・こちらが困ったときには、すぐに話しを聞いてもらえて良かった。 	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4		<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、声を掛けていただけるので大変満足です。 ・そのような会が行われていますか。 	◇保護者の会がなく申し訳ありません。今後は皆さんの意見を伺いながら検討をしていきたいと思えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・徹底されていると思う。 	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・徹底されていると思う。 	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・徹底されていると思う。 	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・徹底されていると思う。 	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・徹底されていると思う。 ・単独通園のためか、特に説明は受けていない。 	◇説明が不十分でご心配お掛けしました。マニュアルについては全て準備してありますので時間のあるときに声を掛けていただければ園長から説明をさせていただきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・徹底されていると思う。 ・毎日のスケジュールで行われていることは知っているが、内容は把握していない。 	◇定期的に開催していますので不安なこと、心配なこと等ありましたら園長より説明をさせていただきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・通う頻度が増えた頃から生活リズムが出来てきたようで毎日、自分なりの持ち物をバッグに入れて出掛けようとしています。 	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に取組んでいただけるため大変満足です。 ・通園してからとても良い方向に改善しています。 	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。